

# FLORE21 ホットニュース

2023年下半期のスタートです。ここ何年かは、お盆が終わるとすぐに「松市」「千両市」があって年越しという感覚です。

夏の暑さでぼーっとしているとすぐに冬が来てしまいます。

スケジュール帳に予定を書き込みながら、改めて「時間」というものを考えてみました。夏休みに少し「時間の無駄遣い」をした後は「時は金なり」を意識していきます。

今週のホットニュースは、

○大田店 「観葉植物」のシーズンです。鹿児島県・指宿訪問

○世田谷店 改めて、「なんでお墓にお花を供えるの??？」

○葛西店 葛西店もインスタ投稿初めました。Check it out !!

○板橋店 「バラの育種」の話。私が選んだバラが商品化???

○会長小池のコラム(過去記事) 【ショー・ザ・フローレ】の始まり

以上の4+1レポートです。それでは、どうぞご覧ください

## OFLOの部屋

こんにちは！大田店の工藤です。

暑くなってきましたね。

ということで観葉シーズン真ただ中の今！

先月行ってきた鹿児島は指宿の観葉植物をご紹介します！

まずは南国感満点のソテツ。

様々な樹形と下から子どもが吹いているかななどで金額が変わりますが大体2万円～。

近頃は数が減っているのご注文はお早目に。





←ちょうど使いそうなサイズのヘゴ。

トップの辺りで4メートルほどです。  
現在大田店にて販売中ですのでご興味ある方はぜひ！



→めちゃ巨大なジャカランタ。  
都内でも大きく育ったジャカランタがちらほらありますが、小さいうちは寒さに弱いので植え込むにはなかなか勇気のいる植物です。  
こちらはここまで大きく育っているのので植え込み時期さえ気を付ければ大丈夫！  
こちらも現在店頭で販売中なのでよろしくお願ひします！



←10号鉢特大サイズのアガベのトルンカータ。

ここまでになるのにどれくらいかかるのか覚えていないそうです。

→すみません。ヤシの名前ど忘れしました。

7月11日以降のどこかのタイミングで  
入荷予定です。  
とても綺麗なシルバーがかかった葉っぱなので  
おすすめです！



←柏葉ゴム・バンビーノ。  
最近人気のあるバンビーノ。  
樹形も様々あるのでお好みの1本を店頭  
でお選びください！  
こちらも7月11日以降で並ぶ予定で  
す！



→寄せてあるフィカス・バーガンディ。

ちょっとまだ仕上がり途中なので  
今回は買っていません。  
最終の仕上がりイメージ湧かないのでご意  
見ある方教えてください。





←おまけ。  
2日目大雨でハウスの中でも冠水のいたる所で滝が、、



→もうひとつおまけ。  
先週行ったブドウなど宿根草を生産している農家さんで。  
**白実ブドウの白斑**なのですが、実にも斑が入るんです！  
実物は初めて見ましたがすごくかわいかったです。

こちらは7月11日に入荷してくるのでご興味ある方は身にいらしてください！  
それではまた。

大田店 工藤

## 世田谷店おすすめ

お疲れ様世田谷店の高野です。

昨年より小平霊園の担当になりまして、右も左も分からないまま、回りの先輩などに、ご指導うけながら、時には助けてもらいながらもやって参りました事にこの場を借りて感謝します。



さて今年もお盆の時期が近くなってきましたね

最近何故お墓に花を供えるのか疑問に思いまして自分なりに調べてみました



まず、お墓に花を飾ることは、故人への供養や感謝の気持ちを伝えるためです。

花は美しさや香りを持ち、生命の営みや繁栄を象徴する存在です。そのため、お墓に花を飾ることで、故人への感謝や思いを伝えることができます。

また、花には霊的な意味合いや浄化の力があると考えられています。

特定の宗教や信仰に基づいて、花をお墓に飾ることで、故人の魂を迎え入れ、供養するという意味が込められることもあります。



さらに、お墓に花を備えることは、故人への敬意や感謝の表れでもあります。花は美しさや儚さを持ちますが、それゆえに生命の限りある輝きを象徴しています。そのため、故人を偲びつつ、敬愛の念を込めて花を供えることで、故人への敬意を示すことができます。



また、花をお墓に飾ることは、墓地を美しく飾るための手段でもあります。花はその鮮やかな色彩や美しさから、墓地を彩り、心地よい空間を作り出す役割も果たします。これによって、故人だけでなく、墓地を訪れる人々にも心の癒しと安らぎを与えることができます。

最後に、お墓に花を備えることは、先祖や故人を大切に思う文化や習慣の一環としてもあります。

お墓に花を飾ることは、故人に対して思いを寄せ、絆を感じるための手段であり、その習慣を受け継ぐことで、先祖を敬愛し、大切に続けることを象徴しています。



このように、お墓に花を備えることには、故人への供養や感謝、敬意の表明、墓地の美化、先祖への思いやりなど、さまざまな意味と目的があります。

ただし、地域や宗教、家族の習慣などによって異なる場合があるため、個々の状況に応じて適切な形式や花を選ぶことが重要とのことです

今年は、コロナ明けで遊びにいきたいと思いますが、お出かけする前に日頃の感謝を込めお墓参りに行ってみたいとは思いますが、いかがでしょうか

(画像はフリー素材からのものです)

世田谷店 高野

## 仕入れの素★葛西店

こんにちは！葛西の酒井です！

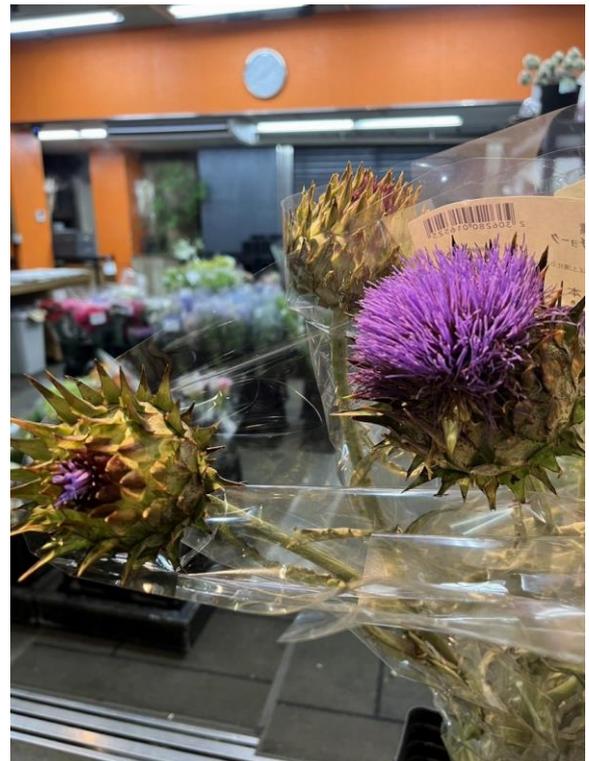
最近雨が降ったりやんだり、暑くなったと思いきや、肌寒くなったりと、気候は目まぐるしく変化していますね！

そして、先週に引き続き

「葛西店 店舗情報」です！！

お花のディスプレイや注文分の取り置き棚配置が大きくりニューアルしています。

草花系やユーカリ、ネイティブ系はお店の中に入ったりと、色々変わってます。

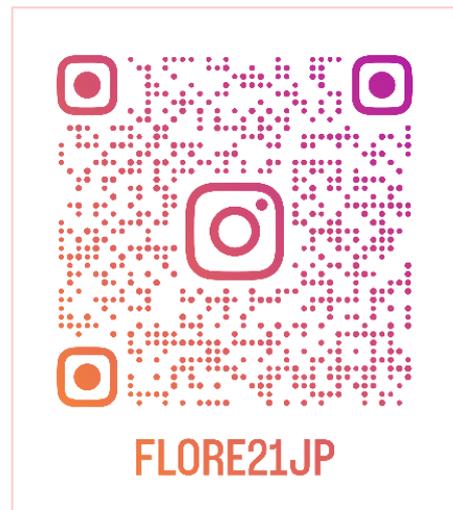


店舗入口の前バケツにイチオシのお花や今が旬の花が並んだりしますので、要チェックですよ！



そして、そして、葛西店だけ乗り遅れていた  
インスタ投稿始まりました。

毎週月曜水曜金曜日にフローレ 21 の公式インス  
タグラムにて、今日のイチオシのお花の紹介のコ  
ーナーが始めました！！



Instagramが見られない方はフローレ 21 の葛西店ブログにも同じ記事を掲載  
していますのでそちらを見てもらえると嬉しいです。

URL : (<https://flore21.com/kasai/?p=4416>)

オススメのお花や珍しい草花や使いたくなる花材を定期発信していきますので、  
買うお花に迷った時はInstagramかブログを要チェックです！

「推し」となるお花が見つかるかもです！

以上、葛西店 酒井でした

## 【驚き！！】の提案 板橋店

板橋店の刈谷です。

去年もこんな感じの気候だったような気もしますが……、  
6月末から一気に体感気温暑くなりましたね！

市場はどこの店舗もそれぞれ、暑さ・寒さを乗り切るのもひと頑張りな環境だと思い

ます・・・

新しく入社した1年目のみなさん、毎日外回りなどで気温の高い環境で働くみなさんなど、それぞれ暑さ対策もしっかりして、ひと夏乗り切りましょう～※※※

さて、ちょうど1カ月ほど前の6月2日、この日は関東でも台風2号が接近中で、とんでもない悪天候ではあったのですが、そんな中、埼玉県北葛飾郡杉戸町にあるバラの育種家、**木村卓功さんの『バラの家』**まで伺ってきました！

木村さんは、「**ロサオリエンティス(東洋のバラ)**」というブランドを育種されていることで皆さんご存知のバラの育種家(ローズクリエイター)さんです。

ガーデンローズを切り花で楽しむという世界観は、昨今の、草花もふんだんに花材の中で使っていく流れがある中で、「バラ」という花材の新しい切り口になるんじゃないかなあという感じがして、見るたび市場でいつもときめかせてもらっています。

そんな中今回は、茨城県の神生バラ園さんが、来期以降に作りたい品種を木村さんのところに見学に行く！ということで、こんな貴重な機会、是非一緒に同行させてもらわねば…という下心(?)丸出しでくっついていった私です。

基本的に、圃場見学に行く際は、どんなお花でもこれから出荷する品種の名前のついたお花をピックアップするかと思うのですが、今回木村さんのところで見学してきたのは、**まだデビューするかも分からない『番号品種』のバラたちがほとんど。**



一般的な、出荷用の品種だけを作っているバラ農家さんとは違い、木村さんのハウスに入ると、試験品種のバラの赤ちゃんたちや、これからデビューできるかどうかを待っている名もなきバラたちが、たくさん出迎えてくれました。



右：紫のバラの試験品種の一行は、どれも違う品種だそう。目を凝らしても私には違いがわかったり…わからなかったり……どれもとても綺麗に見

えませんが、商品化までの道のりの長さ険しさを感じます。

ハウスを進んでいくと、一面ガーデンローズが咲き誇る一角が見えて心が躍るのですが、ここに並んでいる苗も、まだ名前のないバラたちばかり。



木村さんによって交配されたバラの子どもたちの中で、厳選に厳選を重ねて、商品化までもう一步、いわば最終オーディションまで勝ち抜いてきたエリートバラたちです。木村さん曰く、交配して 10 万品種のうちの 1 品種がやっと商品化されるような世界だそうで、「アイドルのオーディションよりも厳しい世界」だとおっしゃっていました…★

今回、こちらの最終的に選抜された番号品種のバラたちの中から、神生さんが自分のハウスに持って帰って育てるバラを選別していきます。

素敵なバラばかりで、どれを選んでも商品として素敵な品種になるんだろうなとは思いますが、後ろで神生さんと木村さんのやりとりを伺っていると、やっぱり好みも出るなあと思って見ていました…。



もちろん、この中から実際に作って出荷される品種を選ぶわけですから、神生さんもとっても熱心に何度もなんども品種番号を確認しながら選ばれていました。

神生さんは、今回白スプレーや、もともと好きそうな淡紫品種を重点的にチェックされてましたね…！ ↓ ↓ ↓



私はこんな、ピンクの複色？っぽい品種や、淡いベージュカラーも、可愛い！！  
と、個人的に推し推ししてみました。



どの品種も心躍ります…ガーデン品種、心がときめきます。

普段見慣れた気になっていた「バラ」という花材が、多種多様にハウスで生き生きと咲き誇っているようすをみると、また新たな気持ちで可愛いなあ！と思えたとっても素敵な時間でした。

「今回私が選んだバラが、もしかしたら切り花として商品になるかも！」と思うと仲卸しのスタッフとして夢がありましたし、「花農家さん」の更に川上。「育種」という、花を商品にする行程として切っては切れない、でも普段はまったく意識しなかった世界に触れたとても貴重な時間でした。



神生さん、木村さん、このたびはありがとうございました～！

板橋店 かりや

## 会長 小池潔のあれこれコラム (過去記事)

「クリエイティブ」(2013年07月05日号より)

【ショー・ザ・フローレ】が終わり10日ほど経ちますが、いまだにお客様のさまざまな声が届く。10月21日の【ショー・ザ・フローレ】への期待と共に、次の【ショー・ザ・フローレ】をお手伝いしたいと言う声である。

通常2000円のチケット代を払い、会が終われば「良かったね」「また来ようね」これで終わるものですが、この度は違った。

これから先の小売店の状況を考えると明かりが見えない先行き。どん底まで売り上げの落ちた小売店。そのことと【ショー・ザ・フローレ】とが繋がった感があるようだ。さらに、次回も間違いなく新しい発見が【ショー・ザ・フローレ】で起こるといふ次への期待の大きさに表れている。

「通常のデモンストレーションや展示会と違う何かがあった」  
何人ものお客様にそのような声をいただいた。「何か」とはどのようなものか。  
私は大げさな言葉で表現するなら

「未来への大きな扉を開けた」

「自分が思い描いていた一つの空間があった」

それは多くの人が次の部屋へ入り新しい発見をする、そのものを体感したい想いが、  
「自分のできることでお手伝いしたい」  
との形になって私たちに届くのだと思った。

私は見守っているだけですが、2回の【ショー・ザ・フローレ】は間違いなく従来のデモンストレーションの枠を打ち破った。

生産者から小売店までどこを切っても威勢の良い話は聞こえてこない。今の自民党の経済政策ではとても我々のところに好景気など回るすべはない。まして消費税1.3兆5千万の史上最高の増税を考えるなら無理な話である。投資減税、大企業への法人税の減税、大型公共事業への200兆(10年間) これらの大企業の景気が浮揚すれば、やがて中小企業や国民へ回ってくるなどという夢物語をいまさら信用する人もいないだろう。世界中で金余り状況が作り出されている中で、株へお金が流れることは考えられるが、景気がよくなり、賃金が増え、雇用が生まれ株価が上がるのでなけれ

